



MITO MAIL NEWS

「駅体制の見直し」に関する申し入れ

地本は、2021年1月29日に会社から「駅体制の見直し」について提案を受けました。提案では、効率的な業務執行体制を構築し生産性の向上を図り、経営体質の抜本的強化に取り組む必要があるとして、土浦駅、水戸駅、勝田駅、日立駅のみどりの窓口営業時間の見直しおよび日立駅の臨時改札営業時間の見直しが示されました。

この間、新型コロナウイルス感染症の拡大、度重なる緊急事態宣言などにより、列車や駅をご利用になるお客さまのご利用状況が大きく変化し、JR東日本としても感染防止・拡大防止のため、駅における「みどりの窓口」の営業時間を一時的に短縮してきた経緯があります。

そのような中で、今回提案された各駅の営業時間の見直しは、コロナ禍の影響によるものではないとは言え、直接的にはコロナ禍における各駅のご利用状況下における見直しの判断ではないのかという疑問が発生しています。駅の「みどりの窓口」の営業時間と雖も地域に密着した公共交通機関、そして駅という在り方を踏まえれば、新型コロナウイルス収束後のご利用状況を見据えることやご利用になるお客さまの目線に立ち、窓口営業時間の見直しや設定を判断・検討し実施する必要があると認識しています。

また、日立駅の臨時改札においては、IC専用改札にすることで集札や精算業務が不要になり無人化にするとのことですが、本来お客さまが安心・快適に臨時改札をご利用していただくための万全な防犯対策や利用しやすいサービス設備や環境の提供が求められることは言うまでもありません。

そして今回、「みどりの窓口」の営業時間の見直しと同時に要員体制の変更も示されましたが、上記した観点は当然のこと、さらには駅における安全と輸送・サービス品質そして、働く組合員・社員の労働条件の低下を招くものであれば安易に認めることはできません。

日々、取り巻く環境が大きく変化しているのは事実ですが、公共性や安全性、お客さまからの信頼を基礎とする鉄道が、効率性や生産性の向上だけに重きを置き、前のめりに施策を進めることには危機感を覚えます。施策と言えども鉄道、駅としての役割を十分に果たしお客さまから信頼され愛される鉄道を創造していく施策であることが大前提であると考えます。

よって、安全第一で質の高いサービスの提供および組合員・社員の労働条件の維持・向上の観点から、労使間における真摯な議論を求め、下記のとおり申し入れますので、会社の誠意ある回答を求めます。

安全第一で質の高い営業職場創り出そう！

低下があつてはならない！

過度な効率化により駅の安全・輸送サービスの

「駅体制の見直し」に関する申し入れ

申23号 3月17日 4項目申し入れ

1. 体制の見直しにより、女性の一人対応や夜間一名対応時間が拡大することから防犯対策を強化すること。また、警察などとの連絡体制や見回り体制の強化を要請し確立すること。
2. 日立駅の臨時改札営業時間の見直しに伴い、改札業務(精算)が無くなることからのりこし精算機を設置すること。
3. みどりの窓口営業時間の見直しについては、利用者の混乱を招くことのないよう関係自治体・学校・企業等に十分な周知を行うこと。
4. みどりの窓口営業時間の見直し後は、ご利用実態と労働実態を検証し、乖離が発生した場合は速やかに実態に即した窓口営業時間とすること。また、実施前・実施後を問わず各駅の作業ダイヤは問題点や現場の声を把握し必要により早期に改善を図ること。



「安全第一・健康第一」で「安心・ゆとり・働き甲斐」のある

風通しの良い健全な職場を全組合員で創造しよう！

